

あなたの声を「あたりまえ」に。

初当選以来、私は7,500件にのぼる区民相談を承り、朝の駅頭も1,400回を数えます。暮らしの現場で頂戴した声を区政に届け、今では多くの人々にとって「住みたい文京」となり、さらには「住み続けたい文京」ともなりました。次なる私の仕事は、「住み続けられる文京」にすることです。松丸まさしは、あなたの声が「あたりまえ」になる文京区を創ります。



1

未就学児から高校生まで切れ目のない子育て支援

- 高校生までを対象に、所得制限なしの「子ども応援支援金」で子育て世帯の家計を支えます。
- 保育園の地域や年齢による偏りを解消し、きょうだいと同じ園に入れるような保育環境をつくります。
- 育成室や中高生の居場所の増設など、支援を必要とする年代の高学年化に対応します。
- 発達障がい児や不登校児への学習・居場所の提供やオンライン支援プログラムを導入します。

2

高齢者・障がい者の健康・住宅・介護と、そのご家族への支援

- 特養の増設や有料老人ホーム・サ高住の開設促進、賃貸住宅に暮らす低所得の高齢者のみ世帯への家賃支援制度の創設、障がい者グループホームの増設や、高齢者と障がい者が親子で入れる併設型入所施設の開設など、住み慣れた土地で暮らし続けられる環境を整備します。
- 介護するご家族・障がい者のご家族を一人も見逃さずに支える仕組みづくりを進めます。
- 白山4丁目の最高裁判所白山宿舍跡地を、高齢者のための福祉施設に活用するよう求めます。

3

安全で、心のゆきとどいたバリアフリーの街づくり

- 買い物や通院、ベビーカーでの移動などに便利な「予約型乗り合いバス」の導入を進めます。
- 地下鉄駅に2基目のエレベーター設置と、下りエスカレーターの増設や優先化を推進します。
- 全利用者に着用が努力義務化されたヘルメットの購入代金補助や、チャイルドシート付き大型自転車の専用駐輪場を設置するなど、坂の街・文京らしい自転車安全対策を実現します。
- 照明設備や太陽光発電パネルの設置、備蓄の更新・充実、隣接する消防署との連携などによる目白台運動公園の防災拠点機能強化と、肥後細川庭園側にある樹林帯の整備を進めます。
- 学校施設が集中する茗荷谷駅や白山駅の混雑を緩和するため、池袋・御茶ノ水・巣鴨などのJR乗換駅と結ぶ直通型や循環型の学バス運行に取り組みます。

学校施設が集中する茗荷谷駅や白山駅の混雑緩和を

バス運行を区議会で求め、都議らと現地視察も

周辺に多くの学校施設が集中する茗荷谷駅は、朝の乗降が多い定期での利用者数が1日平均25,000人以上と、文京区内では抜きん出ているのが現状です。

さらに、4月には中央大学茗荷谷キャンパスがオープンし、法学部などが移転。3,500人以上が新たに茗荷谷駅を利用することから、駅構内や近隣の混雑が危惧されます。

そこで松丸まさし区議は2月定例会で、同じく学校施設が多い都営三田線・白山駅と共に、この課題を取り上げ、「朝の混雑緩和へ、池袋・御茶ノ水・巣鴨等の乗換駅と結ぶ直通型や循環型バスの運行申し入れを」と訴えました。

これに対して成澤区長からは「今後、



混雑が過剰となった際には、必要対策を講じるよう大学等へ要請していく」との答弁がありました。

さらに2月28日には、長橋けい一都議会議員や東京都交通局自動車部・計画課長らと共に現地を視察。4月以降の状況を注視するよう強く申し入れました(写真)。

公共交通不便地域の解消へ「予約型乗り合いバス」の導入を

成澤区長「区民の利便性の向上に資するもの」

文京区では現在、コミュニティバス・B-ぐるが3路線で運行されており、さらに大塚・千石エリアや千川通り沿いなどでも、公共交通不便地域の解消が求められています。

そこで松丸まさし区議は2月定例会で、「予約型乗り合いバス」の導入を区に求めました。

「予約型乗り合いバス」は、「行きたい」と思った時に電話やスマホのアプリで呼べば来る“ちょい乗り”サービスです。半径2~3kmの運行エリア内に、約200mごとに数百カ所の乗降ポイントが設定され、ポイントからポイントへ自由に乗り降りできます。大型ワゴン車ですので路地にも入れ、ベビーカーも畳まずに載せられます。

松丸まさし区議の訴えに対して、成澤区長からも「区民の利便性の向上



に資するもの」と前向きな答弁を得ることができました。

さらに2月28日には、豊島区で実証実験を行っている事業者から話を伺い、体験乗車するなどの視察を行いました(写真)。

高齢者の通院や買い物、ベビーカーでの移動、保育園・塾・習い事の送り迎え等々、幅広い世代から喜ばれているそうです。

文京区議会議員

あなたの声を「あたりまえ」に。

まつ まる
松丸まさし

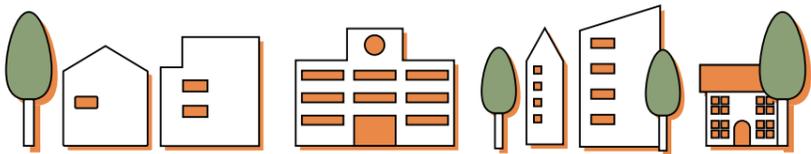


公明区議団が成澤区長へ

エネルギー価格・物価の高騰対策への緊急要望

エネルギー価格・物価の高騰により、光熱費等の負担も大きくなり、区民の生活や、中小事業者の経営に大きな打撃を与えています。公明党文京区議団は、これまで以上に「きめこまやかな支援が必要」として、3月23日、成澤廣修区長に対し「エネルギー価格・物価の高騰対策に関する緊急要望」を提出しました。地方創生臨時交付金を活用し、文京において以下の項目を早急に検討・実施するよう求めました。

- 1 低所得者世帯や高齢者世帯などに対する速やかな支援
- 2 区内中小企業・小規模事業者等に対して、電子決済還元事業を行うなど、事業が継続・発展できる支援
- 3 介護保険サービス事業者・障害福祉サービス事業者、保育施設・子育て支援施設に対して、**食材費・光熱費の補助の継続**。また区立小中学校の**学校給食食材費の補助の継続**。
- 4 生活困窮者等に支援活動を行うNPO法人、子ども宅食や孤独・孤立対策に取り組むNPO等に対し、支援ニーズが急増している現状を踏まえて対応を図る



令和5年度予算が決定

公明区議団の訴えが大きく反映

● 学びの居場所架け橋計画

学級に馴染めないと感じている児童・生徒のために、学校内に居場所を確保し、指導員配置を推進。また、NPOと連携し、オンラインシステムを活用した支援を進めます。

● 带状疱疹ワクチン

公明党の後押しで、全国の自治体に先駆け、同予防接種費用助成制度を開始した文京区。带状疱疹予防の不活化ワクチンへの助成についても、文京区は23区で初めて決定していました。令和5年度は、対象年齢を50歳以上に拡大し、シングルリックスワクチンを助成対象に追加します。

● 町会・自治会への支援

新型コロナウイルス感染症の影響で中止・縮小となっている、町会・自治会の活動を後押しするための支援を行います。

● 中小企業支援事業

現下の経済変動に対応するため、設備投資支援補助事業の拡充、経営相談支援補助事業の継続、「文京ソコチカラががんばるお店応援キャンペーン」を第3弾として拡充します。

● 「防災×共助」加速化プラン

中高層マンション等エレベーター閉じ込め対策経費の拡充、マンホールトイレの設置助成など、中高層マンションの防災対策を強化。さらに地域における共助の力の醸成するための取り組みを実施します。

● 新エネルギー・省エネルギー対策

住宅用太陽光発電システム設備設置費助成金額の拡充、自然冷媒ヒートポンプ給湯器設備設置費助成、高日射反射率塗料施工費助成などを行います。

● フードシェアリングサービスの提供

事業者と区が利用契約を締結し、WEBサイト上に設けられたフードシェアリングサービスを利用することで、事業系食品ロスの削減を図ります。

● おくやみコーナーの開設

死亡届後に発生する区役所内での様々な諸手続きについて、ご遺族の気持ちに寄り添い、不安や負担を少しでも軽減するため、「おくやみコーナー」を開設。必要な手続きを一括して申請できる仕組みを構築するとともに、ハンドブックを作成します。



公明党が物価高対策を後押し

物価高の影響が広がる中、公明党の主張で光熱費などの負担軽減策が、国でも実施されています。1月使用分から、電気代は家庭向けで1キロワット時当たり7円、都市ガス代は1立方メートル当たり30円が使用量に応じて値引き。ガソリンなど燃油価格を抑える補助と共に、9月まで続きます。

4月使用分からは、電気代に上乗せされている「再生可能エネルギー賦課金」が引き下げられ、標準世帯で月820円のさらなる負担軽減となる見通しです。

また、自治体を実施する物価高対策の財源（地方創生臨時交付金）を大幅に積み増し。LPガス（プロパンガス）料金や、学校給食費などの軽減策が進みます。低所得世帯には一律3万円のほか、追加で子ども1人当たり5万円を給付。多くの食品の原材料に使われる輸入小麦の政府売り渡し価格については、4～9月期も値上げ幅を抑えます。



成澤区長と物価高対策などについて
意見交換をする公明区議団